



震災 2 年目を迎えて

本日、3 月 11 日(月)で東日本大震災から丸 2 年となりました。卒業式の練習が体育館で行われた機会に校長から、この大震災を風化させないために震災の教訓として心に刻むべきことについて、全校生にお話しをしました。話の要点としては、以下の点です。

- 1 震災で尊い命を亡くされた方々への哀悼について
- 2 今なお、復興に向けてがんばっている人々について
- 3 いざというときの防災の構え・避難行動について
(万が一の大地震・原発事故等への対応も含めて)
- 4 今を精一杯「元気」に生活していくことについて
- 5 絆～家族、人と人とのつながり・支え合いについて
(明日に向けて、わたしたちにできること)

※ なお、この学校だよりの裏面に児童が在校中に地震が発生したときの避難マニュアルを載せました。
この他、「校外学習中」「登下校中」「休日」に場合分けして対応マニュアルを策定してます。

あの日、実際に校庭に避難している様子です。一人のけが人もなく、2:54 に無事避難完了。



P T A 環境整備、ありがとうございました

3 月 3 日(日)、早朝 8 時から P T A の奉仕作業(環境整備)にご協力くださいましてありがとうございました。体育館使用団体の方々にも多数参加いただき、感謝申し上げます。卒業式を控え、体育館や校舎内の窓ガラスや廊下等が磨きがかかり、輝きが増してきました。

校舎内は職員によって今後ワックスをかけて、さらに磨きをかけていきます。

卒業式に向けての子どもたちの練習もこれから本格化してまいります。13 名の卒業生の晴れの門出にしていきたいと思います。



消防期待書を交付

3 月 7 日(木)、郡山消防署の渡邊副署長(消防指令長)さんが来校し、本校代表の 6 年生に「消防期待書」を交付されました。少年消防クラブの一員として、今後も社会の一員として防火活動や消防・救急活動への意識を高めていってほしいと期待します。交付式では、大河原さんが立派に誓いの言葉を述べていました。

